

〔夏山閑話二〕十二月晦日、水無瀬家より、わらしへにて作りたる箒を二ツ、禁裏へ獻せらる。元朝御殿の御箒初の料也。○中各ふるきことなりといへり。

〔柳營年中行事一〕正月二日 一今朝出御以前、御座之間於御上段、御箒始御年男相勤、老中長袴着用勤之。

〔幕朝年中行事歌合上〕三番 左 掃初

諸人のこゝろの塵もはらへとてけふとりそむる玉はゞきかな○中略

判云、むかしより、老そく中のすぐる老箒取て此御式、たまふ事とかや、今は何となう似氣なき様なれども、昔の御事はすべて親く、且はことそぎたれば、おもきもかるきも、有のまゝ、にうちふるまへる有様、あるくなん。三日參賀は、もとより三朝の御式、替らぬ御事ながら、箒取て世の塵をはらいつゝ、ゆらぐ玉の緒、末久にさかえむ御代の此世の盡きぬ御ことほぎと成ぬる社ありがたけれ。掃初と申は、老職の人、年閑たる人、年男といふ事うけたまはり、二日の朝とく出仕有て、箒を携へて、おまし所の惠方に向ひは、きを入る也、少老御側の衆是にそふ。

〔民間年中故事要言正見一〕不爲掃地事 世俗ニ、元日ヨリ三日ニ到マデ掃除ヲセヌ事アリ、異國ニ

モ是ニ似タル事アリ。○中略モロコシ閩ノ俗ハ、元日ヨリ五日マデ不淨ヲ除ハズ、車ニテ野ニ往テ、

石ヲ拾テ寶ヲ得タリト祝フト也、和國ノ俗モカ、ル事ヲ思ヒ寄シニヤ、或ハ曰ク、地ヲ除ハザル

ハ、是新ニ來ルトコロノ陽氣ヲハラヒステズシテ、靜ニ養フ意モ有ン歟、

〔四季舊式〕世俗ノ習ニ、大歳ノ日掃除シタルマ、ニテ、正月三日マデ座ヲ不掃、人有其内ニ帚バ、福神他へ出ルト云習タリ、掃初ニハ、其年ノ得方ニ向テ掃族多シ、其理未分明、准據スレバ五雜俎天部云、○中略コノ例ヨリ見レバ、本朝ノ俗、座ヲ掃ハヌト同意ナルニヤ、

〔五雜俎二〕元旦○中略 閩中俗、不除糞土、至初五日、輦至野地、取石而返、云得寶、則古人喚如願之意也、